



どしゃ さいがい ぼうし
土砂災害防止についての

絵画・作文を募集します

どせきりゅう じ ぐず
土石流、地すべり、がけ崩れなどの
どしゃ さいがい さぼう
土砂災害のようすや砂防しせつ
さぼう てい けんかく
(砂防えん堤など)を見学したときに
みたこと、感じたこと、考えたことを
ドンドン送ってください。

応募について

内容・大きさ 絵画のかき方、大きさは自由。作文は400字詰め原稿用紙で小学生低学年は2~3枚(800~1,200字)、高学年は3~4枚(1,200~1,600字)、中学生は4~5枚(1,600~2,000字)。どちらも未発表のものに限ります。

応募期間 令和6年6月1日~9月15日まで **応募資格** 小学生・中学生

送り先 あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を記入し、都道府県庁砂防主管課「土砂災害防止に関する絵画・作文募集」担当あて

賞 最優秀賞 / 優秀賞 **発表** 令和7年2月中

表彰 令和7年3月中に国土交通省又は各都道府県において行います。これまでの入賞作品は国土交通省砂防部Webサイトで見ることができます。
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/kaiga_sakubun.html



土砂災害ってなに？

大雨など引き金となり、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることで起こる災害のことです。地震の揺れが直接の原因となることが多い土砂災害もあります。また、大規模な土砂災害が起きやすくなります。



がけ崩れ (斜面崩壊)

急な斜面が崩れる

- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大雨の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一風うちに加わると起きやすくなることも多い。
- 逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後しばらくの間も注意。
- 雨が止んでも数時間は注意。
- すぐれた高さの2階くらいの高さまで土砂がおそってくることもある。



土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになつて、ものすごい勢いで流れ下ってくる



- 大雨が発生する引き金になる。梅雨や台風の時期は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪どけ水で発生することもある。



地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く



- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込み、起こる。
- 家や田畑といっしょに大地がゆつくり動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。



河道閉塞 (天然ダム)

崩れた土砂が川をせきとめる



- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 天然ダムの上流側急流のようになり、水がたまり、家や田畑が水につかる。
- 天然ダムはわけて、たまった水のカで一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。

がけ崩れの前ぶれ

- ① がけから小石がバラバラ落ちてくる。
- ② 斜面から水がわき出る。
- ③ 斜面にひび割れができる。
- ④ 斜面にひび割れが広がる。



こんな変化に注意

土石流の前ぶれ (前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起これたら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとには要注意です。

- ① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が昇ったりする。
→上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
- ② 川や沢の流れがにごり、木の葉が流れてくる。
→上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りかする、異常なおいかする、地鳴りかする。
→土砂が崩れているのだから。
- ④ 雨がふり続けているのに川や沢の水が濁る。
→上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。



地すべりの前ぶれ

- ① 池の水がにごったり、減ったりする。
- ② 山の樹木がザンザンとぞわぞわ、木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
- ③ 地鳴りや山鳴りかする。
- ④ わき水がふえる。
- ⑤ 地面にひび割れや段差ができる

ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。

土砂災害警戒区域の看板

近所にこういう看板はないですか？



がけ崩れ、土石流、地すべりの危険が大きい場所を示しています。これらの場所は特に注意しましょう。